

# 平成 30 年度 学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標	1年間の目標	取組の内容	
		(平成28年度策定)		具体的な方策	評価の観点
1	教育課程・学習指導	<p>①教育課程の改善を図り、確かな学力向上を推進し、幅広い教養と課題解決力を身に付けさせる。</p> <p>②学校行事や生徒会活動等を充実させ、生徒の主体的な行動の促進を図る。</p>	<p>①-155分授業を活用し、目標提示と到達度認知させ、進路実現への意欲を引き出す「進路指導のある授業」実践、家庭学習の奨励。</p> <p>①-2 思考力、判断力、表現力育成のための「主体的・対話的で深い学び」と評価の組織的研究推進。</p> <p>②学校生活の振り返りから自己の変容を認知させる指導体制の確立。</p>	<p>①単元計画で「何をできるようにするのか」明確な目標提示と振り返りや演習・課題等の充実および進路希望調査結果等を活用し、定期テストで過去入試演習の導入。</p> <p>①-2 単元計画に基づいた「主体的・対話的で深い学び」の実践およびプロセス評価研究・研修。</p> <p>②行事や委員会・部活動の目標設定と振り返りおよび活動履歴作成指導。</p>	<p>①共通テスト割合調査の継続と入試演習の割合調査、生徒による授業評価新項目による状況調査。</p> <p>①スタディーサポートにおける家庭学習時間検証。</p> <p>①-2 授業研究会議の実践報告。</p> <p>②振り返りシート作成、指導計画を策定できたか。</p>
2	生徒指導・支援	<p>①部活動の活性化を通して、責任感や連帯感、他者と積極的に関わろうとする姿勢の涵養を図る。</p> <p>②規範意識の醸成を進め、自他を尊重する心を育成する。</p> <p>③生徒一人ひとりの個に応じた支援体制の充実を図る。</p>	<p>①教科外活動の充実。</p> <p>②授業時の携帯、ピアス指導の徹底。</p> <p>③組織的な教育相談体制を整える。</p>	<p>①-1「百合丘芸術祭」実施と部活加入率70%への取り組み継続。</p> <p>②指導状況の検証。</p> <p>③欠席数調査、アンケートで、問題行動やいじめにつながる行為を未然に防止する。</p>	<p>①-1 百合丘芸術祭実践報告および部活動加入率。</p> <p>②携帯、ピアス指導カード発行枚数と検証。</p> <p>③協議件数と対応、面談実施状況。</p>
3	進路指導・支援	<p>世界を視野に入れた社会貢献について、生徒が自らのキャリア発達を意識できる進路指導の充実を図る。</p>	<p>①あきらめさせない進路指導で大学進学60%を目指し、自学自習力につながる組織的学習支援体制を構築する。</p> <p>②キャリア形成における変容のメタ認知指導の実践。</p>	<p>①-1 学習、進路、生活三位一体の3か年指導計画およびデータ分析による数値目標の設定。</p> <p>①-2 進路指導における学習支援体制の整備。</p> <p>②行事や委員会・部活動の目標設定と振り返りおよび活動履歴作成指導。（1の③再掲）</p>	<p>①-1 3か年指導計画、実力テスト数値等のデータ分析と指導方針が共有されたか。</p> <p>①-2 夏期講習、自習室利用の実施状況。</p> <p>②生徒に活動報告書を作成させることができたか。（1の③再掲）</p>
4	地域等との協働	<p>連携・交流を活性化させ、地域に親しまれ誇りとされる学校づくりを進める。</p>	<p>①「社会のために活動する」意識の醸成。</p> <p>②広報活動の充実を図る。</p>	<p>① 生徒会、部活動における地域交流活動の推進。</p> <p>②広報活動の内容充実と生徒の参加を増やす。</p>	<p>①委員会・部活動等による地域交流活動の集約数。</p> <p>②学校案内改訂広報活動参加生徒数。</p>
5	学校管理・学校運営	<p>責任ある組織的業務を推進し、信頼される学校づくりを進める。</p>	<p>①相互点検のある職場づくり。</p> <p>②働き方改革の推奨。</p> <p>③避難所対応、帰宅指導、職員配備など実践的な防災訓練への改訂。</p>	<p>①-1 成績処理システム、指定校推薦手順マニュアルの周知徹底。</p> <p>②部活動休養日計画とノー会議デーの設定。</p> <p>③避難所対応マニュアル作成および職員の初動対応訓練の実施。</p>	<p>①-1 点検後訂正数の推移調査。</p> <p>②部活動の平日・週休日休養日調査とノー会議デーの実施状況。</p> <p>③防災訓練を改善することができたか。</p>